

◇ 地元からの雇用や調達、周辺整備により、地域貢献に努めている。

地元企業との交流・取引や雇用機会の創出などにより、地域の活性化に貢献しています。

また、三ヶ山緑地公園や体育館などを整備し、サッカー、バレーボール、バドミントンなどで利用され、地域に貢献しています。

## 2 資源循環工場の課題

◆ 受入量を拡大し、更なるリサイクルの向上に努めていく必要がある。

資源循環工場の受入量は徐々に増加しているものの、まだ受入能力には十分な余力のある施設があります。また、市場の変化による経営環境の悪化などにより、事業者の判断で現在受入を停止している施設もあります。

リサイクルの促進と経営の安定化のためには、量的な面においても向上を図っていく必要があります。

そのためには、リサイクルは、市場原理だけでは進みにくい面もあることから、より高度な技術や環境配慮の取組が評価されるような仕組みをつくっていく必要があります。

◆ 技術の進展や市場の動向に、柔軟に対応していく必要がある。

資源循環工場では、安全性の向上や、効率性・経済性の観点から、良質の技術の開発や最先端技術の導入に努めていくことが不可欠であり、法規制や地域への影響などの点に配慮しながら進めていく必要があります。

◆ 産業集積の効果を、さらに発揮させていく必要がある。

産業集積に一定の効果はあがっているものの、同業種の集合だけでは競争となってしまいう面もあるため、更なる集積効果が発揮できる取組が必要となります。

◆ 環境への負荷を減らす対策を進めていく必要がある。

住民アンケート等により指摘されている臭気の問題や防災調節池の水質改善などの取組を、さらに講じていく必要があります。